

# 事例紹介とSTの可能性

2020/12/8

株式会社 BOOSTRY 佐々木 俊典

## 国内発行事例

- › 概要
- › トークンと資金の決済
- › 今後の可能性

## 目指す市場

- › 資本市場のインターネット化
- › 利用者の体験

# 国内発行事例

# 今年のトークン発行

2020/3 NRIによる日本初の**デジタルアセット債**を実現

2020/7 野村アグリによる**会員権**による資金調達を実現

2020/7 ケネディクスによる改正金商法初の**不動産証券化**を実現

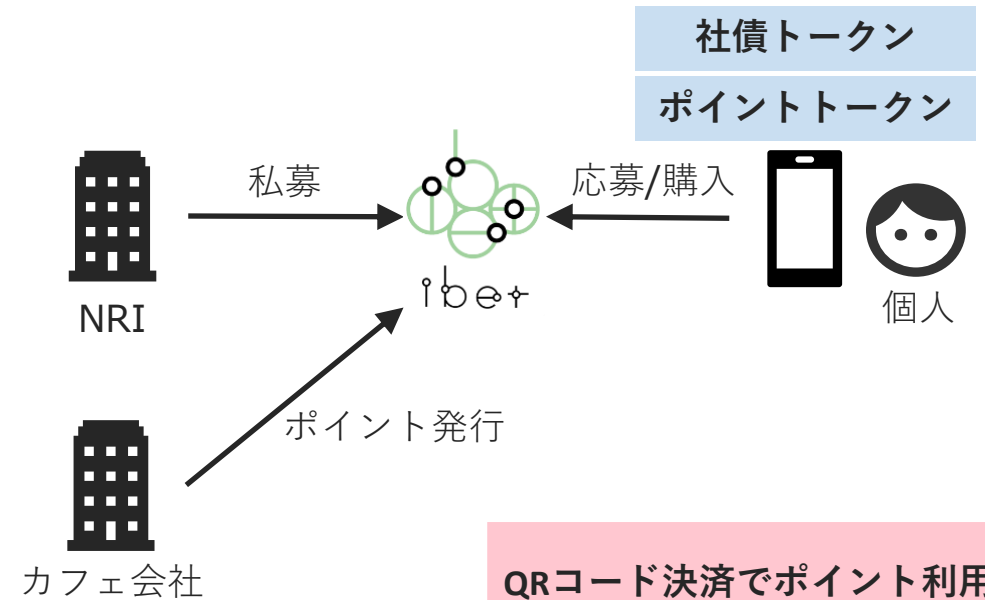
2020/10 SBIグループによる日本初の**未上場株管理**を実現

# 日本初のデジタルアセット債

## 特徴

- ブロックチェーンで社債権者を管理
- 非金銭リターンを付与
- 証券会社を介さない自己募集

<b>発行企業</b>	野村総合研究所	
<b>商品</b>	デジタルアセット債	デジタル債
<b>発行額</b>	2,500万円	500万円
<b>年限</b>	3カ月	
<b>利率</b>	年0.5974% <b>相当のカフェポイント</b>	年0.5974%
<b>募集形態</b>	<b>自己募集</b>	引受（野村証券）

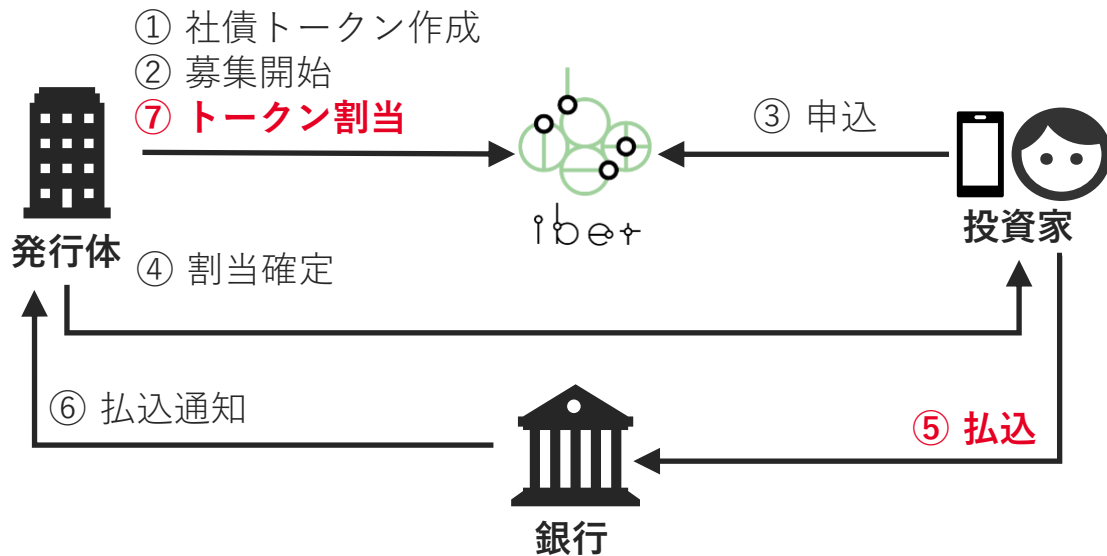


QRコード決済でポイント利用

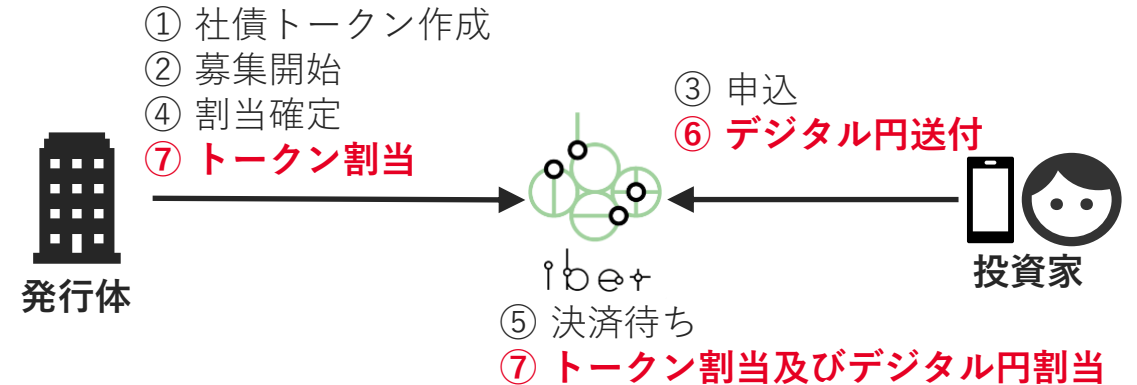


# トークンと資金の決済

## 本件におけるトークン決済フロー



## デジタル円によるトークン決済フロー



証券トークンとデジタル円のDVP  
円トークンかBCと連動するデジタル円の仕組みが必要

# 今後の可能性

## 自己募集の広がり

証券の発行が金融機関網（販売や決済）がなくても回るようになる

- 発行体と投資家がP2Pで繋がるネットワーク（募集、応募、約定）
- 発行体と投資家のP2PでのDVP決済
- 発行時のドキュメントワークのDXとの連携

## 流通市場の生産性向上

証券の流通のマッチングや決済が自動化される

- 投資家と投資家がP2Pで繋がるネットワーク（注文、マッチング、約定）
- 投資家と投資家のP2PでのDVP決済

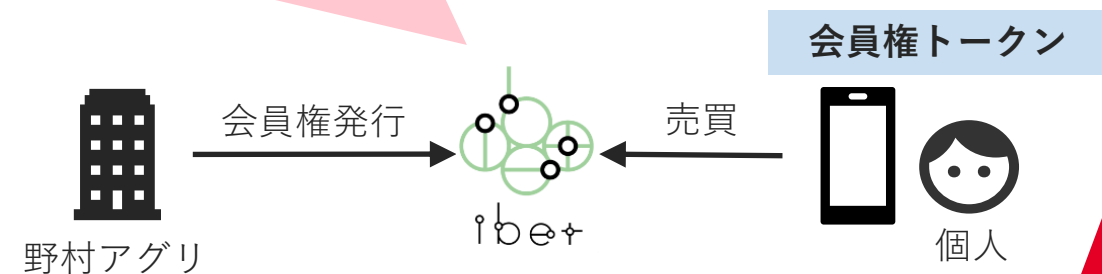
# 非証券の会員権



価格	1口 5万円
募集数	49口
発行理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい事業の資金調達</li> <li>ファンとコラボによる商品開発</li> <li>ファンコミュニティの形成</li> </ul>
特典	<ul style="list-style-type: none"> <li>スープ試作品の試食会（複数回）</li> <li>農業の収穫体験</li> <li>オンラインコミュニティイベントへの参加</li> <li>開発企業からの情報提供</li> <li>パッケージに名前入りの完成品が届く</li> </ul>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>期間中に売買できる（価格が変動）</li> </ul>



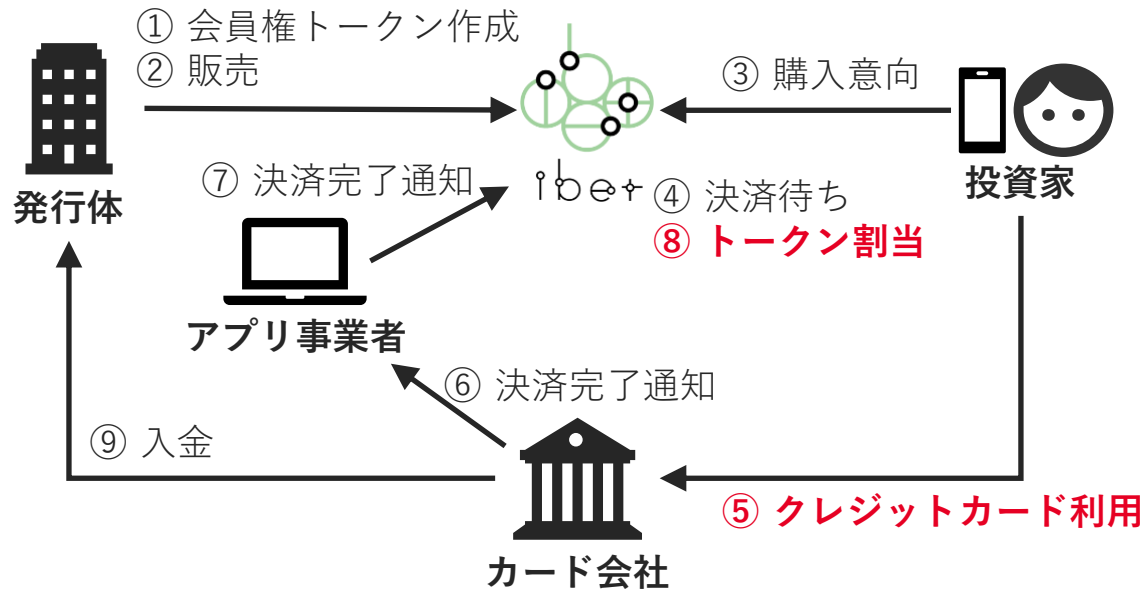
ゴルフ会員権のように特別感と資産性を持つ権利の発行、売買



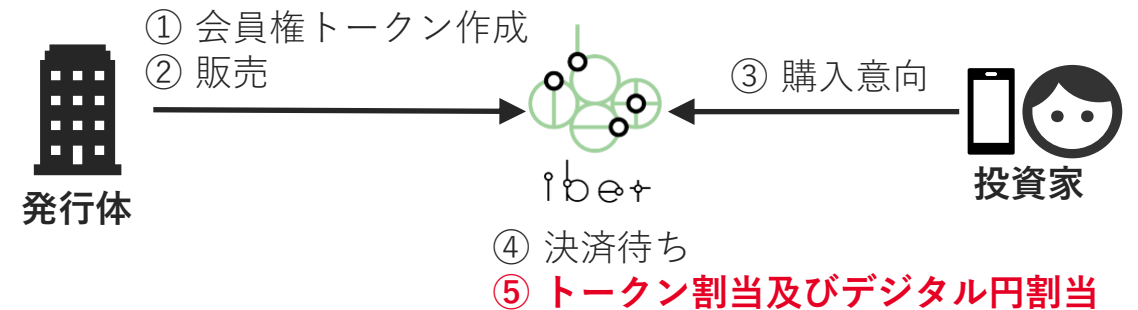


# トークンと資金の決済

## 本件におけるトークン決済フロー



## デジタル円によるトークン決済フロー



トークンとデジタル円のDVP  
円トークンかBCと連動するデジタル円の仕組みが必要

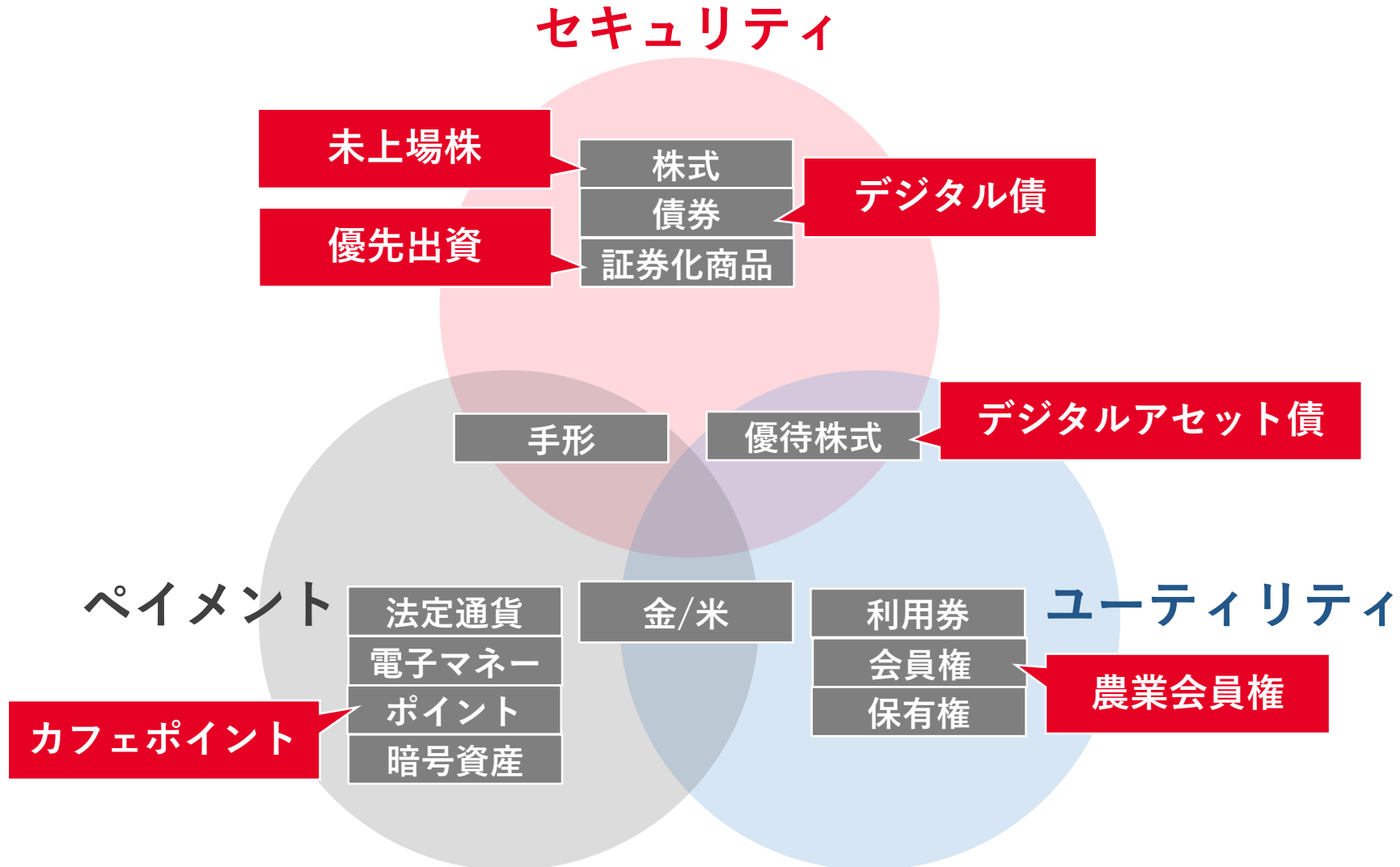
# 今後の可能性

## エスクローサービスの社会インフラ化

デジタル資産と資金決済のエスクローを特定企業から共有基盤化する

- 個別企業がエスクローを整える必要がない
- 取引コストや信用コストや時間コストの削減

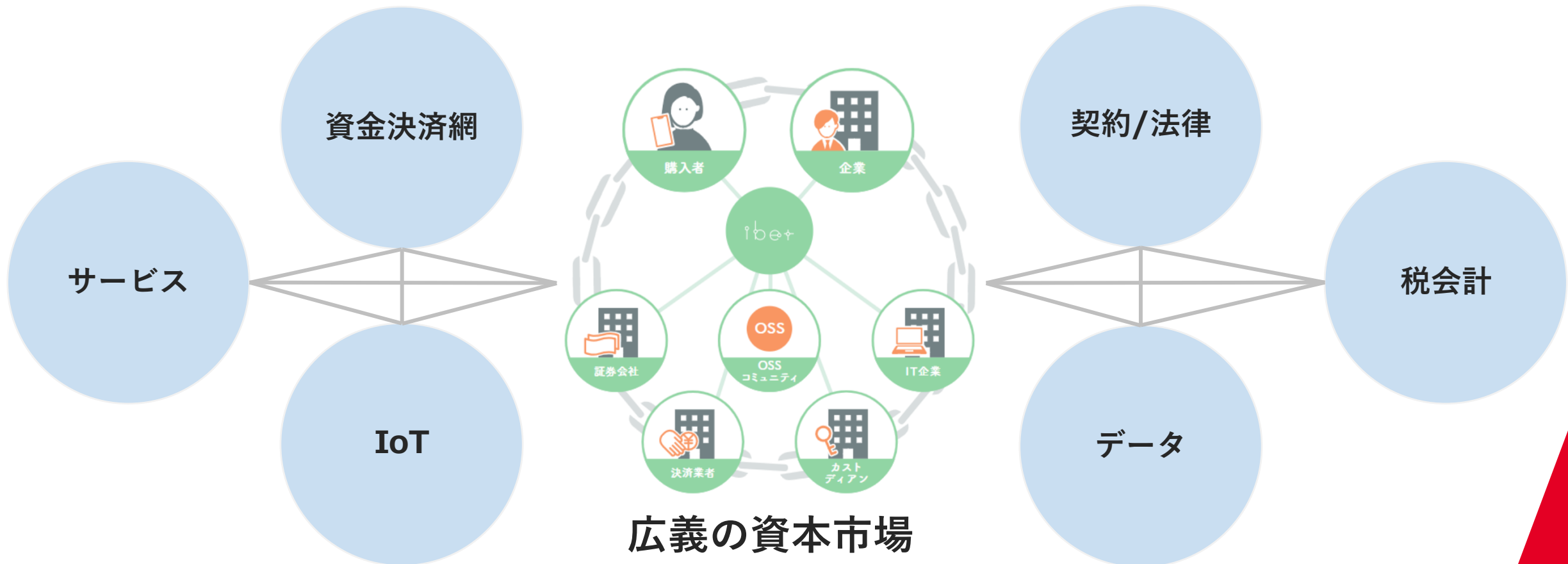
# 3つの権利の形態



# 目指す市場

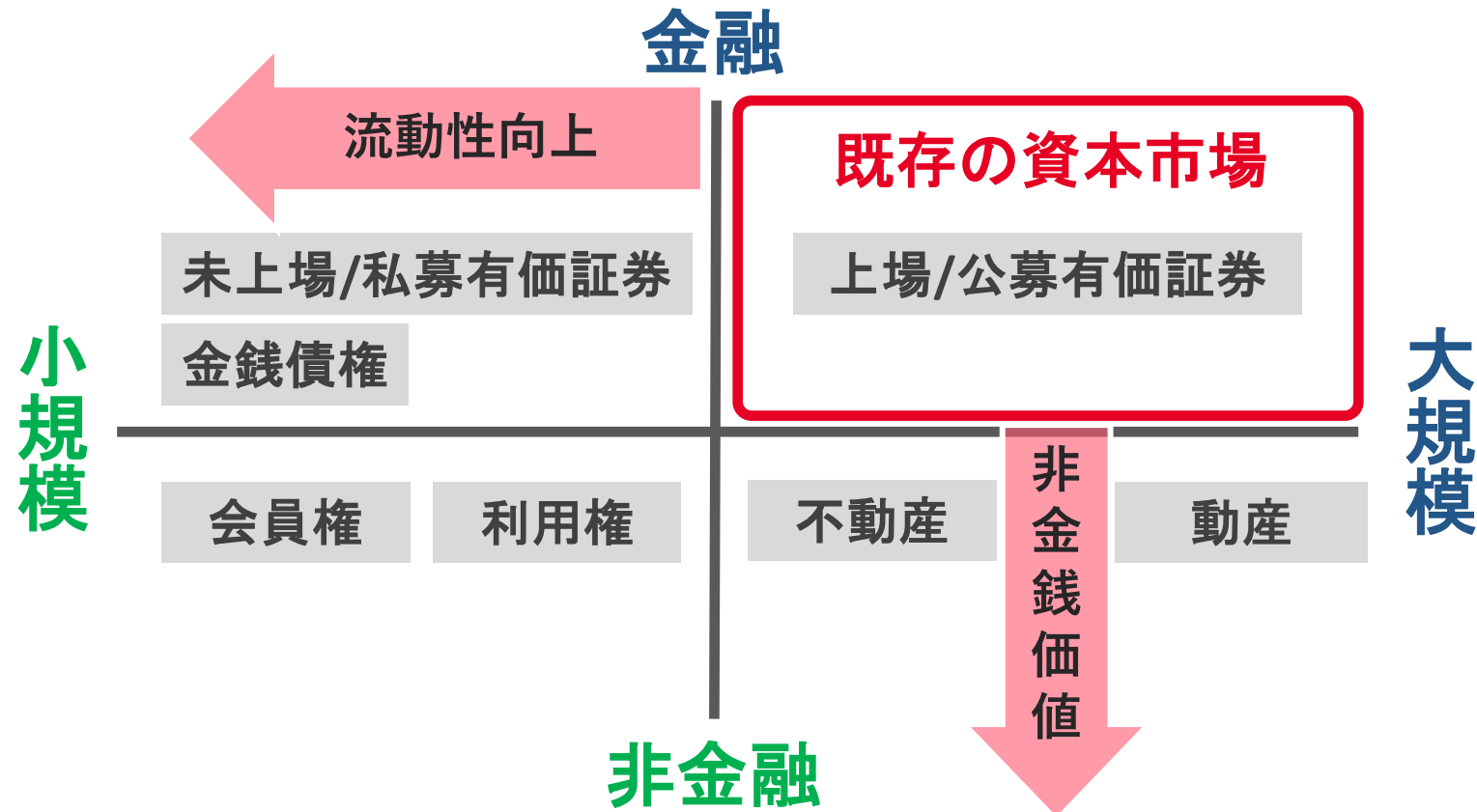
# 資本市場のインターネット化

有価証券、金銭債権、保有権、利用権などの権利の移転を行う広義の資本市場をインターネット化する  
様々なネットワークと連携することで社会と人の活動を豊かにする



# 広義の資本市場

資本市場を『分散・共有』の基盤で広義の資本市場に進化させる



# 広義の資本市場に求められる基盤

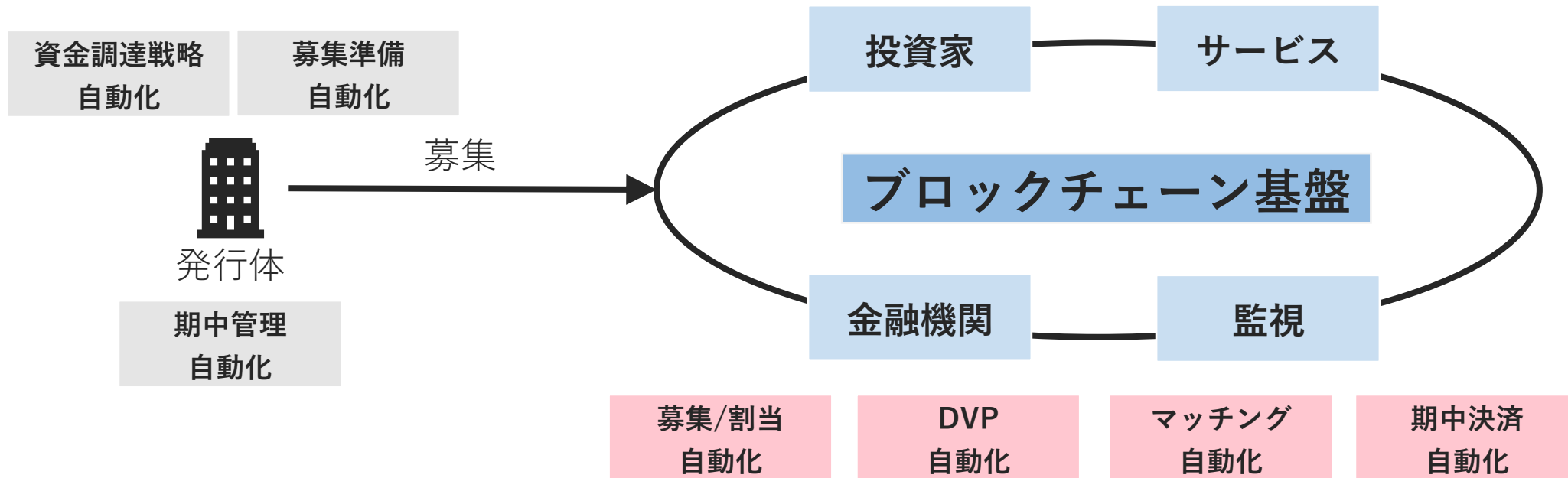
様々なネットワークと連携でき、様々な業界の共有基盤となる以下のようなブロックチェーンの仕組みが必要

- 様々なネットワークとネット連携できる
- 基盤運営に特定企業の営利やクレジットリスクが絡まない
- セキュリティトークンだけでない権利も扱える
- 取引参加者間のP2P性
- 多様な企業が独自サービスを提供可能



# 利用者の体験イメージ

発行体は社債の調達を決定してBCを使った募集で投資家を集める  
 様々なプロセスは自動化され、オプションサービスが事業が会社から提供される  
 時間コスト、金銭コストが低く、従来とは異なる利用シーンで活用できる





**BOOSTRY**  
*Boost your try.*